

令和2年度 府立洛西高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
1 確かな学力を身に付けさせるとともに希望進路の実現を図る。	1 学力の伸長を目指してきめ細かな学習指導を行うことに加えて、ICT機器の活用やアクティブラーニングの実践も広がったが、十分な組織的な取組にまでは至っていない。 進路状況については、多くの生徒が希望の実現を果たした。ただ、安易な進路選択にはならないように、また、難易度の高い入試を突破するだけの学力を高めるために、3年間をとおして系統的な進路・学習指導を行っていくことには、更なる研究・実践の余地がある。	1 生徒一人ひとりを大切にし、個性と能力、可能性を最大限に伸ばす教育活動を行うとともに、新学習指導要領の実施に向けて教育課程の編成及び指導計画の構築に取り組む。 (1) 授業改善に取り組み、授業の質をさらに高める。 ・基礎基本の確実な習得 ・ICT機器の効果的な活用の推進 ・生徒が主体となって学ぶ授業への創意工夫 ・教員相互の授業研究交流 (2) 地域や社会とつながり自己を高める場として、また、自ら課題を発見し他者と協働しながら考えを深める場として、洛再 Links を組織的に実践していくとともに、総合的な探究の時間等を教育課程に位置づけていく。 (3) 将来の生き方につながる教育活動を展開するとともに、ポートフォリオ等により自らの活動を蓄積、意味づけて成長につなげる取り組みを進めていく。 (4) 学習・部活動・学校行事等にも全力で取り組む学校文化をさらに醸成し、そのような活動をとおして豊かな人間性を育むとともに、主体的に行動する力を高める。 (5) 一人一人の生徒を大切にし、温かさの中に厳しさのある生徒指導を推進する。基本的生活習慣を身につけ、心身ともに健康な生徒の育成を目指す。 2 本校の魅力を発信し、府民、地域、保護者、中学生等からの信頼をさらに高める取組を推進し、本校を志願する中学生の増加を目指す。
2 部活動・自主活動の充実・活性化により、豊かな人間性を育み質の高い集団作りを行う。	2 部活動、洛西フェスティバル等の主体的な活動は、大半の生徒が熱意をもって取り組んでおり、活性化している。また、新学習指導要領の実施や、高大接続改革による大学入試の変化を見据えて、自主的・主体的な探究型学習である洛再 Links を1年生から始めることができた。今後、総合的な探究の時間の具体的な取組として今後位置付けていきたい。	
3 保護者、地域の方々から信頼され、期待される、魅力ある開かれた学校づくりを実現する。	3 ホームページやお知らせメールの更新頻度を上げることで広報活動を精力的に進めることができた。今後は、地域・保護者・中学生等からの信頼をさらに高めるために、学校説明会を始めとする広報の機会をより充実させていく必要がある。	

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
組織運営	- 各種会議の連携を図り、学校運営を組織的に進める。 - 生徒・保護者・地域社会からの期待に応え信頼される学校づくりを一層推進し、本校の教育活動についての特色や魅力に関する情報発信に努める。 - 生徒の教育環境の充実に向け、適切な予算執行を行う。	- 部長会議を中心とし、各種会議にて課題に応じた組織的な検討を行う。 - 各種会議での検討内容を全教職員で共有し、共通理解のもと組織的な取り組みを進める。 - 学校内外で実施する本校の説明会や広報紙、ホームページ等の内容を充実させ、本校の教育内容や特色、魅力等を効果的に広報する。また、お知らせメール等を活用し、日々の高校生活等について生徒や保護者へ適切な情報提供に努める。 - 洛再Links等におけるボランティア活動等を通じ地域とのつながりを大切にすることに努める。 - 危険箇所の早期発見・改修を行い、安心安全な学習環境を整えるとともに、施設設備の充実を図る。		

	・生徒の個性と能力、可能性を最大限に伸ばす教育活動を実現するため、適切な予算執行を行うとともに、奨学金等の情報提供を行い修学支援等の充実を図る。			
--	--	--	--	--

各分掌

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
学習指導	・知識・技能や思考力・表現力・判断力を高める、質の高い授業の実現を図る。 ・基本的生活習慣の確立や規範意識の向上に努める。 ・学校説明会等を通じて、期待を裏切らない学校であること等、本校の魅力を発信する。 ・各種会議等での連絡・調整を密にし、学校全体で教育に取り組む姿勢を確立する。 ・学習指導要領の改定を念頭に、現学習指導要領に基づく授業改善を図る。	・アクティブラーニングや ICT 機器を活用して、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善を図る。 ・指導方法の工夫や改善が図れる公開授業のあり方を検討し実行する。 ・時間管理や自学自習のあり方について考えさせる機会を提供する。 ・落ち着いた雰囲気や、生徒の頑張る姿が本校の魅力であり、生徒自身に自覚を持たせるとともに、本校生徒であることに誇りを持たせられるような教育活動を行う。		
生徒指導	・基本的生活習慣の確立と規範意識の向上に努め、安全意識(交通安全・防犯・防災)の高揚を図る。 ・落ち着いた学習環境を作り、個性と能力、可能性を最大限に伸ばす教育活動を行う。 ・地域や社会と協働しながら考えを深め、豊かな人間性を育むとともに、主体的に行動する力を高める。	・日常における挨拶や正しい言葉づかい、時間の自己管理を指導する。 ・制服の正しい着装や頭髮など高校生らしい姿、身だしなみを指導する。 ・自転車通学者を中心に、登下校時の安全指導を充実させるとともに、「4ない運動+1」を推進する。 ・スマホ(携帯電話)のモラルを教え、マナーを指導するとともに、SNSやネットとのかかわり合い方など情報機器の正しい使い方を指導する。 ・洛再 Links やボランティアにおいて、積極的に活動を奨励し、豊かな人間性を育むとともに、主体的に行動する質の高い集団となるように指導する。 ・人権学習の内容を充実させ、一人一人の意識を高めて人権が守れる集団となるように指導する。 ・部活動や学校行事、特に洛西フェスティバルを積極的に取り組ませ、健全な人間関係の構築を図るとともに、自主性・協調性の向上を図り、達成感を持たせるよう指導する。		
進路指導	・個に応じた指導等により、生徒一人一人の進路を実現する。 ・大学進学に関する具体的目標としては、国公立および難関私大への実合格者80人を目標としつつ、国公立大学、難関私大への合格者及び、主に標準クラスからの難関中堅私大への合格者を指標とする。	・校内の各組織と連携しながら、生徒が自ら将来像を描き、よりよい進路選択をしていくように促す。 ・発展クラス、標準クラスともに確かな学力を身につけて進路を実現するために、様々な働きかけを講じる。 ・生徒が主体的に学ぶ姿勢を身につけるために、LR等を活用して家庭学習の習慣化を促す。 ・個人面談を通じて一人一人の進路実現への助力をする。 ・教科指導や担任の支援となる情報提供に努める。		

		・大学入試等の制度改革について、適切な情報収集と対応を図る。 ・保健管理や保健指導を計画的に実施する。 ・配慮・支援を要する生徒への指導を充実させる。 ・不登校等の未然防止や学習・生活支援を必要とする生徒への早期対応をはかる。学年部や教務部と連携し、兆候を早期に把握し、必要な手立てをとる。 ・特別支援教育を充実させるための具体的な方策を立てる。 ・安全点検や清掃用具等の点検・整備をすすめる。 ・各種検査を活用し、教育活動にかかる環境整備を進める。 ・学校医・学校歯科医・学校薬剤師との連携を大切にし、学校運営に活かす。			
保 健	・生徒一人ひとりを大切にする、学校経営計画に基づく様々な教育活動の支援 ・特別支援教育の充実 ・学習環境の整備と充実 ・学校保健会議の活用	・探究型学習、調べ学習、図書館利用学習への直接的支援や援助を行う。 ・学校行事や人権学習等の取り組みに積極的に協力し、特別展示などを通して啓発活動を行う。 ・教育的効果を考慮した団体鑑賞を実施する。 ・図書委員会の活動を活性化させ、自主的な取り組みを増やし、視覚的にも楽しい図書館にする。 ・図書館ニュース、新着図書案内、洛西選書を発行する。特設コーナーや季節のイベントを充実させ、読書の啓発に努める。 ・図書館管理システムによる蔵書管理を効果的に行う。 ・学校行事のビデオ撮影を行い、学級活動等に提供する。 ・ホームページを通じて広報、情報発信を行う。 ・公共図書館との連携を深める。			
図 書	・学校経営計画に基づく教育計画や教育指導への支援を充実させる。 ・自主的に読書に親しむ生徒を育て、読書を通じて豊かな人間性を育成する。 ・図書館メディアの充実をめざす。視聴覚機器を適切に管理し、有効に活用する。 ・地域・保護者・中学生等に積極的に広報する ・外部の公的機関等との連携を深める。	・学校内外で実施する本校の説明会や広報紙、ホームページ等の内容を充実させ、本校の教育内容や特色、魅力等を効果的に広報する。 ・各分掌、教科、部活動と協力し、生徒の日々の活動を記録に残す。 ・ホームページの更新頻度を高めて内容を充実させるとともに、お知らせメールも積極的に活用し、必要な情報をタイムリーに学校内外に提供できるように努める。 ・PTAとの連携を深め、PTA総会をはじめとする各種委員会の活動、諸行事が有意義なものとなるように支える。 ・学年部、国語科、地歴公民科、英語科と連携して「グローバルネットワーク京都」の取組を実施し、			
広報 地域連携 プロジェクト	・生徒募集に関わって、本校の魅力や求める生徒像を様々な機会を活用して中学生及びその保護者にわかりやすく伝える。 ・在校生及びその保護者に適切に情報提供をする。 ・PTA・地域の方々との関係を深め、信頼される学校作りを目指す。 ・府立高校特色化事業等の取組等を通して、生徒の社会的視点、国際的な視点等を養う。				

	・高校生伝統文化事業、高大連携授業を推進し、生徒の視野を広げ、学問的関心や知的好奇心を養う。	交流発表会に向けて準備を進める中で社会科学的視野、国際的な視点を養う。 ・人文クラス対象に、各学年、教科と連携して「高校生伝統文化事業（華道・茶道）」の取組を実施し、生徒が伝統文化に親しむ態度を育成する。 ・発展クラス対象の「洛西アカデミックチャレンジ講座」、「洛西サイエンスチャレンジ講座」の取組を通して、高大連携をより進め、より高度な学習について興味を喚起するとともに、生徒の進路選択の一助とする。				
環境整備	・生徒の個性と能力、可能性を最大限に伸ばす教育活動を実現するため、適切な予算執行を行うとともに、奨学金等の情報提供を行い修学支援等の充実を図る。	・本校の教育活動に何が必要かを教職員と連携して検討し、有効で適切な予算の執行を行い、必要な物品等は速やかに購入する。 ・危険箇所の早期発見・改修を行い、安心安全な教育環境を整備するとともに、施設設備の充実を図る。 ・多種多様な奨学金制度について本校のホームページを活用し、情報提供を行うとともに、円滑な事務処理を行う。 ・諸証明の発行及び奨学金等の手続きの際に、提出期限や窓口取扱時間の厳守等、規範意識の向上に繋がるよう指導する。				